

# 時の人

全明全共闘の議長

せき ぐち せい いち  
関 口 成 一



○「伝統ある本学生運動の二翼を拒否することができて本当に嬉しい」と議長就任の弁。全明全共闘は①安保闘争勝利の大学改革委紛争②九月バリ・スト死守の三項を「自衛スロウ」に掲げる。「敗北感を感じた良闘争を乗り越えた良闘争の全共闘」

○「伝統ある本学生運動の二翼を拒否することができて本当に嬉しい」と議長就任の弁。全明全共闘は①安保闘争勝利の大学改革委紛争②九月バリ・スト死守の三項を「自衛スロウ」に掲げる。「敗北感を感じた良闘争を乗り越えた良闘争の全共闘」

○「二番印象に残っている闘争は昨年の一〇・二二新宿闘争。あの闘争はすばらしい一語に尽きます。あれこそ、人民戦争、でしよう」とひとまわ熱く語る。

○「読書傾向はカタン本ばかりで小説などはほとんど読まない。好きな本は『国家と革命』『毛沢東選集』。『家の人』はぼくのことをもうおぼろげに知っている」と語っているが、毎週土、日曜日には必ず横浜の自宅に帰るという「模範生」でもある。

## 最後までやり抜く覚悟

運動を展開します」とすま——セクト間の調整も大々々と胸をたいた。

○「本格的に学生運動に参加したのは、〇・八羽田闘争以降」といふ。一部から「キャリア不足」の声も聞かれるが、当人は一向に気にしていない。「ボクはまだバウラれて経験がないん校出身 (金成有造)」